



2024年2月14日

各 位

会 社 名 株式会社 FHT ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 車 陸昭
(コード：3777、東証グロース)
問合せ先 管理部長 中村 尚美
(TEL. 03-6261-0081)

連結業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

本日付「2023年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表した2023年12月期(2023年1月1日～2023年12月31日)の連結業績につきまして、前期実績値(2022年12月期(2022年1月1日～2022年12月31日))との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、当社は当該機関に係る業績予想を公表していないため、増減につきましては実績値との比較になっております。

記

1. 2023年12月期連結業績と前期実績の差異

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 期 実 績 値 (A) (2 0 2 2 年 1 2 月 期)	754	△109	△116	△171	△0.76
当 期 連 結 実 績 (B)	16,999	205	169	153	0.55
増 減 額 (B - A)	16,245	314	285	324	
増 減 率 (%)	2,154.5	—	—	—	

2. 差異の理由

2023年12月期の連結業績予想につきましては、既存事業、新規事業について、計画の実現可能性も含め不透明な状況であるため、業績予想の合理的な算定が困難であることから「未定」としておりました。

資源エネルギー事業においては、ソルガム種子の引き渡しの完了、本格的に稼働し始めた電力小売事業が堅調に推移したこと等、環境事業においては、立体駐車場据付工事およびメンテナンス事業の受注が回復傾向にあったこと等、IT関連事業においては、新たに取得した子会社によるリユース事業が堅調に伸びたこと等、すべてのセグメントにおいて高水準の実績を実現することができました。

その結果、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも前期連結実績を上回る結果となりました。

なお、連結業績及びセグメント別の業績につきましては、本日開示しました「2023年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご覧ください。

以 上